

不二製油グループのアプローチ

重要な理由		経営資本強化の取り組み	
■ 自然資本への依存と影響(森林減少・生態系破壊)、人権リスク(強制労働・児童労働)、先住民&地域の土地の権利 ■ サプライヤーとの連携による持続可能なサプライチェーン構築が不可欠		自然資本	■ 森林破壊の防止と森林再生の促進 ■ 生物多様性・土壌・水資源など自然生態系サービスの保全と回復 ■ 気候変動リスクの低減 ■ 地域コミュニティとの協働による持続可能な土地利用
		社会・関係資本	■ 課題の優先順位に基づくサプライヤーとの連携強化 ■ 安定的かつ持続可能な原料調達体制の構築 ■ 透明性ある情報開示によるステークホルダーとの信頼関係強化
取り組みの方向性		製造資本	－
■ 「サプライヤー行動規範」および「責任ある調達方針」に基づく活動推進 ■ 生産地における環境負荷低減と人権課題の解決に向けた取り組み継続 ■ リスクの重大性と機会の潜在性を多角的に評価し優先順位に沿って効果的な施策を展開 ■ サステナブル調達による競争優位確立		知的資本	－
		人的資本	■ プログラムやトレーニングを通じた育成支援、モニタリング ■ 方針や行動規範の浸透に向けたエンゲージメント

戦略

重点項目		パーム油のサステナブル調達	カカオのサステナブル調達	大豆のサステナブル調達	シアカーネルのサステナブル調達
リスク		■ 生態系サービスの減少や不安定化、水資源枯渇・汚染、洪水・土壌浸食など生産地における自然環境の劣化に伴う収量減少と相場乱高騰による原料調達コストの大幅増加 ■ 原料調達量不足、製法の制限、生産量減少による市場・顧客が求める製品供給の停止 ■ 森林破壊、泥炭地開発、人権侵害などに伴う社会的信用の低下による市場・顧客の喪失			
機会		■ 規制強化により、認証油や植物性食品などのサステナブル製品の供給拡大と先行者メリットによる収益性の向上 ■ 主要原料の農地環境破壊・生育環境変化対応による原料の安定調達			
リスク・機会の財務影響	短期	高	高	低	低
	中期	極高	極高	中	低
	長期	極高	極高	高	中
バリューチェーン	上流	●	●	●	●
	自社	－	－	－	－
	下流	－	－	－	－
目指す姿・目標		■ 中長期目標 森林破壊ゼロ、泥炭地開発ゼロ、搾取ゼロ ■ 2030年目標 TTP100% 全ての直接サプライヤーに労働環境改善プログラム適用	■ 中長期目標 森林再生、児童労働撤廃 ■ 2030年目標 児童労働撤廃 カカオ栽培地域に対して100万本植樹	■ 中長期目標 森林破壊ゼロ、搾取ゼロ ■ 2030年目標 コミュニティレベルまでのトレーサビリティ確保またはRTRS認証品その他認証品での調達率100%	■ 中長期目標 森林保全、女性のエンパワメント支援 ■ 2030年目標 毎年6,000本植樹 地域レベルでのトレーサビリティ：75% Tebma-Kanduプログラム調達比率：50% ほか
社会・環境インパクト	低減するネガティブインパクト	■ 人権侵害 ■ 農家の貧困 ■ 児童労働、強制労働 ■ 先住民、地域住民、労働者からの搾取 ■ 自然生態系の破壊や損失 ■ 土地の利用の転換 ■ 不適切な廃棄物による環境汚染			
	創出するポジティブインパクト	■ 農家の生計向上			
中計基本方針との関係性		● 成長領域の更なる強化 ● 新たな挑戦領域の確立	● 成長領域の更なる強化	● 成長領域の更なる強化	● 成長領域の更なる強化